

■和泉市地域公共交通網形成計画事業の進捗状況一覧

【凡例】 ○:実施 △:一部実施 ×:未実施

資料1

基本方針	事業名	事業概要	実施期間(年度)	実施主体(太字)、関係主体	進捗状況	実施状況(令和元年度まで)	今後(令和2年度以降)の予定・課題
基本方針1: 主要駅を拠点として、まちづくりと連携した交通結節機能の強化	北信太駅前の整備 <b>参考資料1</b>	未整備となっている都市計画道路北信太駅前線(駅前広場も含む)の整備 [全体事業期間:~令和15年度予定]	R1~R5	和泉市	○	H31.3に「北信太駅前整備基本計画」を策定し、R元年度より事業化を図っている。R元年度においては、用地測量・物件調査、また、駅前線・駅前広場などの基本設計を行った。	基本計画での短期目標である自由通路の整備をR5年度末に完了させるために、令和2年度において、駅西側の用地測量及び物件調査、自由通路・駅西側広場の基本設計を行っていく。
	信太山駅のバリアフリー化 <b>参考資料2</b>	信太山駅の西側に改札口を設置し、スロープや多機能トイレを整備	R1	鉄道事業者、和泉市	○	R1.8に駅舎のバリアフリー工事に着手し、R2.3.30から供用開始を行った。 工事内容:スロープ改良、多機能トイレ設置、警告誘導ブロック設置、2段手すり、西口改札	駅西側地域住民の利便性の向上を図るとともに、放置自転車等の状況を注視していく。
	和泉中央駅前広場の改修 <b>参考資料3</b>	和泉中央駅において、一般車両の流入抑制など交通秩序化を図るため、駅前広場の改修	R1~R3	和泉市	○	R元年度において、警察や交通事業者と協議・調整を図り、詳細設計を行った。	R2年度において、R2・3年度の2か年債務で駅前広場改修工事の発注を予定している。(R4年春工事完了予定)
	鉄道駅におけるバス乗り場案内の改善	鉄道駅におけるバス乗り場案内の改善	R1~R5	和泉市、交通事業者	○	和泉中央駅前広場の改修にあわせて、バス乗り場案内サイン(路面表示・案内板・標柱等)の改善に向けて、交通事業者と協議を進めている。	交通事業者と連携を図り、バス乗り場案内サインのほか、シェルターの設置によるバス待ち環境の改善に向けて、よりよいサービスの向上を目指す。
	② 主要な拠点の利用者の利便性向上に向けた検討	主要な拠点への利便性向上に向けた検討	R1~R5	和泉市、交通事業者	△	市内各駅、医療施設、商業施設への公共交通による来訪の快適性や交通機関同士でスムーズに乗り継ぎできる利便性向上策として、交通事業者のバスロケーションシステムの活用や乗換情報案内サイを用いた取り組みを行った。	主要拠点への交通ネットワークを交通事業者等と検討し、来訪者の快適性や乗り継ぎ等の利便性向上策を具体的に検討していく。
③ 駅における地域公共交通と他の交通手段を合わせた案内の充実	徒歩・ウォーキングマップ・イベントの案内・連携 自転車・レンタサイクルの案内・連携、サイクルアンドバスライドの促進に向けた検討	R1~R5	和泉市	△	MMの推進に関する市内アンケートを実施し、駅を総合的な移動拠点とする事業の抽出を行った。また、和泉中央駅のレンタサイクルの案内サービス拡充として、駅からの案内表示の実施に向けて、関係団体等と調整を行った。	駅において徒歩・自転車等の他の交通手段との連携、組み合わせ可能な事業を精査し、案内の充実を図っていく。また、サイクルアンドバスライドの促進に向けて、バス停の候補地を検討していく。	
④ 南部地域のまちづくりと連携した交通ネットワークの検討	南部地域における公共交通の現況調査を踏まえ、南部リージョンセンターを含めた交通ネットワークのあり方を検討	R1~R5	和泉市、交通事業者	○	公共交通に対するアンケートや路線バス等の乗降等調査を実施し、ワークショップを通じて交通ネットワークのあり方を検討し、バス路線沿いの地域住民のMMIに取り組んだ。	令和2年度では地域公共交通検討支援業務として、コンサル発注し、ワークショップ等を実施し、交通ネットワークのあり方をさらに検討していく。	
基本方針2: 各交通機関の役割と特性を活かした、持続可能な交通網の形成	① 市内の主要拠点を中心とした将来地域公共交通網の構築	一般路線バス及び地域バス(市が主体となって運行するバス)との役割分担のもと、将来交通網を検討	R1~R4	和泉市、交通事業者、地域住民	△	6月にコミュニティバス「めぐ〜る」4ルート全便の乗降調査を実施し、8月に路線バス「父鬼線」(父鬼〜槇尾山口)の乗降等調査を実施し、利用実態の把握に努めた。	交通不便地域における地域バスの役割として、現在の地域バスの見直し、改善による対策のほか、新たなモビリティサービスの導入も念頭に置き、交通事業者、地域住民、関係団体等と計画立案に向けた協議・検討を行っていく必要がある。
	② 地域バス(コミュニティバス「めぐ〜る」、路線維持運行バス、オレンジバス)の運行形態の見直し <b>参考資料4</b>	地域の特性や現状等を踏まえ継続的なルート・ダイヤの見直し	R1~R4	和泉市、交通事業者	△	6月にコミュニティバス「めぐ〜る」4ルート全便の乗降調査を実施し、8月に路線維持運行バス「父鬼ルート」(父鬼〜槇尾中学校前間)の乗降等調査を実施し、利用実態の把握に努めた。	コミュニティバス「めぐ〜る」については、乗降調査の結果と前年度の利用者増加の推移を踏まえ、現時点ではルート・ダイヤの見直しを行わず、利用促進に取り組んでいく。路線維持運行バス「浦田ルート」については、利用の低迷が続いており運行の見直しを関係団体等と協議・検討を行っていく。
	③ デマンド型乗合タクシーの検討	運行エリアを設定し、デマンド型乗合タクシーの持続可能な運行形態を検討	R1~R5	和泉市、交通事業者、地域住民	×	南部地域をはじめ市域において、他の交通機関と競合しないよう、交通空白地域と最寄り拠点やバス停をつなぐデマンド型乗合タクシーを選択肢の一つとして、持続可能な運行形態を検討している。	地元の合意形成のもと、他の交通機関と競合しないよう、交通事業者と協議を行いながら、運行エリアの設定や運行形態などを引き続き検討していく。
	④ 隣接市町との連携による路線バスの利用促進	隣接市町(泉大津市、河内長野市、堺市、岸和田市、忠岡町)との連携による路線バスの利用促進	R1~R5	和泉市、隣接市、大阪府、交通事業者、地域住民	△	6月に実施した横山地域バス運営委員会において、市内を運行する地域間幹線系統「天野山線」の利用促進の取組みとして、河内長野市から提供の路線バス及びコミュニティバスマップ、観光情報パンフレット等の配布を行った。	引き続き、隣接市町と連携を図り、路線バスの利用促進に取り組んでいく。
	⑤ 観光施設と連携した公共交通の案内充実	拠点駅から観光施設への乗り継ぎ時刻を各施設のパンフレット等に掲載	R1~R5	和泉市、各施設	△	MMの推進に関する市内アンケートを実施し、広報媒体(パンフレット等)に公共交通案内を掲載できる、または案内充実が可能な施設等の把握を行った。	施設パンフレット更新時に関係課と調整し、公共交通案内の充実を図っていく。また、周遊観光バス「ミュージアムタウンループ」については、コロナ感染症の影響により今年度の運行を見送っていることから、来年度運行開始する際には観光施設や鉄道駅と連携を図っていく。

基本方針	事業名	事業概要	実施期間(年度)	実施主体(太字)、関係主体	進捗状況	実施状況(令和元年度まで)	今後(令和2年度以降)の予定・課題	
基本方針3: 公共交通の積極利用を促すための情報提供と利用促進施策の展開	① 住民、市職員、学校、転入者等に対するモビリティ・マネジメント(MM)の実施	住民、学校、転入者等に対するMMの実施	公共交通利用を促す情報提供冊子の配布による転換行動。地域バスの利用実態を把握し、MM実施による効果検証	R1～R5	和泉市、地域住民、学校	○	市教育委員会発行の『体育館だより』9月号の紙面を活用し、クルマと環境と公共交通をテーマとしてMMを実施した。転入者に対しては、地域公共交通総合マップを配布し、公共交通の利用促進に取り組んだ。【市民室/シティプラザ出張所 計800部】	住民、学校、転入者等に合わせて様々広報媒体を活用し、MMIに取り組んでいく。
		行政職員の積極的な利用	市職員に対する公共交通通勤の推進	R1～R5	和泉市	○	毎月20日を本市のノーマイカーデーとして、前日の庁内アナウンスを通じて、市職員に対して公共交通通勤の推進を図っている。	引き続き、市職員が率先して公共交通利用を実践していく。
		学校行事やイベントでの利用促進	学校教育と連携した利用促進(幼児・児童のバスの乗り方教室など)	R1～R5	和泉市、交通事業者、地域住民	○	10月に光明台北小学校(2年生対象)にてバスの乗り方教室を、11月に北松尾幼稚園(5歳児・保護者対象)にて交通環境教室(近畿運輸局共催)を実施した。	コロナ感染症の影響により、学校行事や市イベントを中止・延期している状況にあり、バスの乗り方教室も当面の間は実施できないことから、MMの新たな手法を検討していく必要がある。
	② 大阪府の実施している高齢者運転免許自主返納制度の周知と利用促進	運転免許自主返納制度の周知	大阪府における高齢者運転免許自主返納制度の周知・PR	R1～R5	和泉市、和泉警察署、交通事業者、地域住民	○	市ホームページにて同制度を掲載し、広報いずみ7月号の特集として免許自主返納の周知を図った。	運転者講習会の開催周知を町会・自治会内の回覧に併せて、同制度の掲載サイトを閲覧できるQRコード等を掲載して周知・PRに努めていく。
		市内における免許自主返納者へのインセンティブ付与の充実	市内における免許返納時のインセンティブ付与の充実 <b>参考資料5</b>	R1～R5	和泉市、交通事業者、地域住民	○	市商工部局と連携し、割引特典などの付与に協力いただける市内サポート企業(店舗)の拡大に向けて、商工会議所の会報にサポート企業募集チラシ(2,000部)を折込み、企業の募集に努めた。	タクシー事業者をはじめサポート企業(店舗)の拡充に向けて取り組んでいく。
	③ 市民や来訪者に対する公共交通に関する一元的な情報案内の提供	乗り継ぎ拠点での情報案内の改善	主要な拠点施設における他の交通手段との乗り継ぎ案内情報の提供	R1～R5	和泉市、交通事業者、拠点施設、観光施設	○	地域公共交通総合マップを作成し、乗り継ぎ拠点施設において案内情報の提供に努めた。	案内情報の提供を継続するとともに、他の手法による情報提供も検討していく。
		日常生活に即した利用案内の作成・配布	市内地域公共交通の総合マップ、活用方法の作成、配布など(MM関連と連携)	R1～R5	和泉市、交通事業者	○	市内の地域公共交通を一元的に表した公共交通利用を促す地域公共交通総合マップを作成し、12月広報紙に折込み全戸配布を行った。	来訪者への情報案内の提供として、市ホームページを活用した情報提供のほか、観光おもてなし処に総合マップを引き続き設置していく。
		来訪者向けのサービスの充実	コミュニティバス「めぐ〜る」、路線維持運行バス、オレンジバスの検索サイトでの情報提供	R1～R5	和泉市、交通事業者、観光施設、民間企業(情報提供事業者等)	○	地域バスの乗換情報をNAVITIMEの他に、Yahoo!路線情報でも検索できるよう拡充した。	検索サイトでの情報提供を継続していく。
	④ 地域、交通事業者、行政の連携による議論と実践の場づくり	住民・交通事業者との議論の場の設置	必要に応じて地域住民(まち協等)・交通事業者・行政が一体となって議論・検討できる場づくり	R1～R5	和泉市、交通事業者、地域住民	×	南部地域交通の検討について、アンケート調査の結果を踏まえて、ワークショップには交通事業者を交えて議論・検討を予定していたが実施できていない。	令和2年度では地域公共交通検討支援業務として、コンサル発注し、ワークショップへの交通事業者の参画を促し、検討結果が実現性の高いものとなるよう議論・検討の場づくりに努める。
		地域主体の交通づくりの支援制度の検討	各地域の支援の仕組みを検討し、ガイドラインを作成	R1～R5	和泉市、交通事業者	×	地域主体の交通まちづくりの支援に向けて、先進事例を調査・検討している。	本市の地域特性や交通情勢などを勘案し、地域支援の仕組みを検討していく。
	⑤ 高齢者及び障がい者に対する外出支援の実施	高齢者おでかけ支援事業の実施	高齢者を対象とした負担軽減策の実施 <b>参考資料6</b>	R2～R5	和泉市、交通事業者、地域住民	○	75歳以上の高齢者がバス・タクシーを利用できるよう、「高齢者おでかけ支援チケット(1人あたり年間2,000円)」を交付し、健康寿命の延伸と公共交通の利用促進に取り組んだ。なっち購入・チャージ:20,806枚/タクシー:11,901枚/オレンジバス:5枚(R2年7月末速報値)	なっち購入・チャージの機会を創出するため、8月22日・23日・29日・30日、9月5日・12日の計6日で北部・南部リージョンセンター、シティプラザにて出張交換会の実施を予定している。
		障がい者福祉タクシー助成事業	在宅の重度障がい者に対してタクシーの利用料金の一部(初乗り運賃)助成(年間24枚)	R1～R5	和泉市、タクシー事業者	○	R元年度より重度障がい者福祉タクシー助成を拡充(年間24枚から26枚)し、行動範囲の拡大と社会参加の促進に取り組んでいる。	引き続き外出支援を実施していく。
その他に関連する事業	① 自転車利用環境向上に関する施策	自転車走行空間の確保	市内の主要施設、交通結節点を結ぶ道路で、自転車通行空間の確保・整備。既存の整備済み道路については現状の車道内で路面表示等による誘導 <b>参考資料7</b>	R1～R5	和泉市、道路管理者、和泉警察署	△	和泉府中駅前北通り線の道路整備の実施にあたり、自転車通行空間の確保策として路面に矢羽(青色)表示を試験的に実施した。	矢羽表示の効果検証として、駐輪場利用者のほか、バス・タクシー乗務員に対するアンケート調査を実施していく。
		自転車ネットワーク計画の策定	自転車による移動の連続性と回遊性を高め、安全で快適な自転車通行空間を効果的、効率的に整備。自転車ネットワーク路線の選定に向けて「(仮称)和泉市自転車ネットワーク計画」の策定	R3～R5	和泉市、道路管理者、和泉警察署	×	大阪府自転車活用推進計画(R元年12月策定)を踏まえて、本市における自転車ネットワーク計画の策定に向けて情報収集を行っている。	自転車ネットワーク計画の内容を踏まえた自転車活用推進計画についても検討していく。
		自転車利用ルール・マナーの啓発	実践的な交通安全教室を実施し、自転車利用のルールとマナーの啓発及び教育	R1～R5	和泉市、和泉警察署	△	自転車利用のルールとマナーの啓発及び教育の要素を取り入れたバスの乗り方教室(光明台北小学校)を実施した。	実践的な交通安全教室の実施に向けて、他事例を参考にブラッシュアップを図る。

## 和泉市地域公共交通網形成計画事業の進捗状況

(同計画 P68及びP91)

## 【施策目標】

地域特性等を踏まえた公共交通の運行及び利用促進施策の実施により、

1. 人口に対する鉄道・バスの利用率は現状以上を目指します。
2. 公共交通の利便性に対する市民の満足度を現状より向上させます。

## (1) 利用者数に関する目標

目標指標	基準値 (H30)	目標値 (R5)	R1 年度事業評価
人口に対する市内鉄道駅乗車人員が占める割合 ○各駅の1日平均乗車数の合計÷市人口	31.6% (H28年度)	31.6%以上 (R3年度)	<u>31.7%</u> (H30年度)
人口に対する市内一般路線バスの利用者数が占める割合 ○一般路線バスの1日平均利用者数÷市人口	5.4% (H28年度)	5.4%以上 (R3年度)	<u>5.7%</u> (H30年度)
人口に対する地域バスの利用者数が占める割合 ○地域バスの1日平均利用者数÷市人口	0.17% (H29年度)	0.17%以上 (R4年度)	<u>0.16%</u> (R1年度)

※括弧書きは、評価対象年度を表し、基準値は「統計いずみ」市人口(H29.3末)で割合を設定

※R1年度事評価では、「統計いずみ」市人口(R2.3末)で割合を算出

※地域バス：市が主体で運行しているコミュニティバス「めぐ〜る」、路線維持運行バス、地域バス「オレンジバス」を総称して「地域バス」と呼称

## (2) 市民満足度に関する目標

目標指標	基準値 (H30)	目標値 (R5)
公共交通の利便性に対する市民の満足度 ○市民アンケートにおける公共交通の満足度※ (「満足している」「やや満足している」)の回答の割合 ※JR・泉北高速鉄道、一般路線バス、地域バスの各満足度の 平均値	31.6% (H28年度)	31.6%以上 (R3年度)
地域バスの利便性に対する市民の満足度 ○市民アンケートにおける地域バスの満足度 (「満足している」「やや満足している」)の回答の割合	5.4% (H28年度)	5.4%以上 (R3年度)

⇒ 最終年次において、市民アンケート調査を実施し、市民満足度や公共交通に対する評価、引き続きの改善要望を把握するものとします。